

(別紙1)

平成29年度 中学校教科間連携による授業力向上実践研究事業実施計画書

1. 学校の概要(平成29年4月1日現在)

ふりがな	むろとしりつきらがわちゅうがっこう				ふりがな	せんとう ひろし		教員数
学校名	室戸市立吉良川中学校				校長名	仙頭 浩		11
	第1学年	第2学年	第3学年	特別支援級	合計	ふりがな	いずい みさ	
生徒数	7	9	10		26	研究主任名	泉井 三抄	
学級数	1	1	1		3			

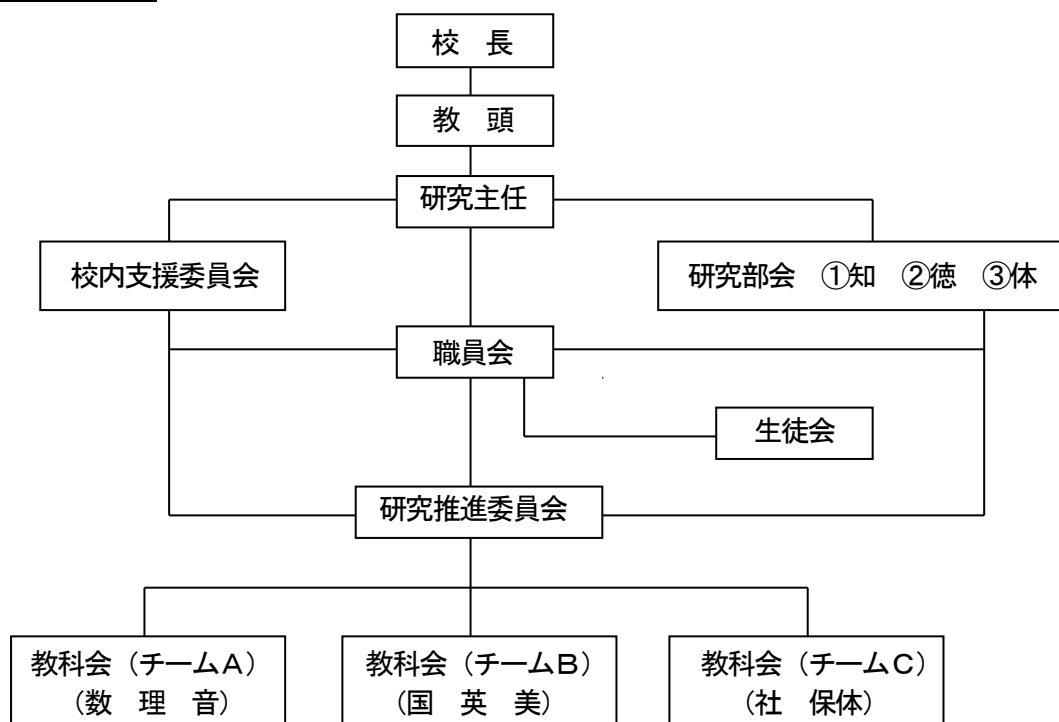
2. 自校の小規模校教育の現状

本校は小規模校であり、各教科一名の教員配置である。また、技術家庭においては、免許教科外担任での対応となっている。そのため、教科会が行われておらず指導方法の共通認識や日常のOJT等、切磋琢磨する機会に恵まれていない状況がある。

3. 研究テーマ

主体性とコミュニケーション能力の育成
～ 教科間連携による思考力・判断力・表現力を育む授業づくり ～

4. 研究組織図



5. 研究内容・方法

研究内容	研究方法
1. 教科間連携による思考力・判断力・表現力を育む授業づくり	1. 授業づくり ・チーム会：月4回週時程位置付け（事業概要、組織体制等確認、チーム会研究計画作成、チーム会の進捗管理表作成、計画と実行、共通理解） ・学校経営アドバイザー・指導主事招聘研修会 ・研究授業（チーム会） ・授業改善プランに係る生徒の実態把握 ・授業の相互見学 ・県外視察研修 ・研究授業に向けての指導案検討 ・各学力調査結果の分析会と授業改善 ・授業力チェックシート、学習状況アンケートの分析と授業改善
2. 協働的な組織体制の構築	2. 組織づくり ・学年会、職員会（各学期の提案と共有、成果と課題の検証、次年度に向けての改善と計画） ・学校評価の分析と改善 ・研究推進委員会 ・学校経営計画の見直しと共通理解

6. 検証計画

指標・検証方法	達成目標	時期
全国学力・学習状況調査	国語A 75%・国語B 65%（正答率） 数学A + 5P・数学B + 5P（全国平均）	5月
高知県学力定着状況調査	1年（県平均） 国語 + 3P・社会 + 10P・数学 + 5P・ 理科県平均以上・英語 + 3P	1月
高知県学力定着状況調査	2年（県平均） 国語 + 10P・社会 + 10P・数学 + 5 P・理科 + 10P・英語 + 10P	1月
学校評価	「授業がよく分かる」95%以上	12月
授業の振り返り	項目3「めあて」項目7「振り返り」 肯定群80%以上	8月・3月
学習状況アンケート 授業力チェックシート	独自項目「予習をしている」80%以上 質問項目9平均「学習内容に有用感がもて る適用問題や評価問題」2.8以上 質問項目11平均「授業の流れや思考の過 程がわかる板書」3.0以上	4月・2月

7. 研究計画の普及計画

普及の内容	方法	時期
事業実施計画書、チーム会の研究計画の公開	自校のホームページ	6月
事業実践中間報告	室戸市校長会	9月
公開授業（チーム研・全校研） 学校評価、年度末検証結果の公開	自校のホームページ	3月